

ぐんま総合診療医センターの役割

入学前から卒業後まで一貫指導体制を築く

群馬大学は本年度、厚生労働省が進める「総合的な診療能力を持つ医師養成拠点の形成事業」の支援対象に選ばれ、群馬県、県内医療機関と連携して、総合診療医を養成するための中核拠点(ハブ)形成に取り組めます。この事業を中心になって推進するための「ぐんま総合診療医センター」を6月に学内に設置しました。

❖ 目的・目標 ❖

本学は県内唯一の医師養成機関として、群馬県と連携し、医師配置調整、キャリア形成支援、研修支援を一体的に推進してきました。当事業では、群馬県、県内医療機関および本学のオール群馬で、組織間の壁のない総合診療医育成のためのネットワーク(大学入学前から卒業後まで一貫して指導できる体制)を構築すると共に、持続可能な教育プログラムを開発することを目的としています。中期的には、総合診療医育成の拠点をすることで地域医療課題を解決する全国モデルとなることを目指します。

❖ 具体的施策 ❖

本事業は、総合的な診療能力を体系的に教育し、総合診療医育成を推進するものです。具体的には以下の5つの事業を中心に展開してまいります。

- 大学在学中(卒前)から卒業後までの総合的な診療能力の育成：総合診療医センター医師による総合的な診療の教育や地域での実習を促進していく
- ICT、オンライン、シミュレータ等の活用により、総合診療教育の標準化を行う
- 群馬県内の総合診療医育成プログラム間のネットワークを形成し、指導医へのサポート体制を充実
- 総合診療専門医取得後のキャリア形成や学術的支援、バックアップ体制を充実させていく
- 総合診療マインドを持つ他領域の専門医の育成を行っていく

❖ 総合診療医の育成が求められる背景 ❖

- ①地域で活動する総合診療医に求められるのは、特定の疾患だけでなく患者をひとりの人間として包括的な医療を提供する能力と、他の領域別専門医や多職種等と連携し、地域社会の多様な医療や福祉につなげるマネジメント力。このような総合診療医の育成・確保が、医師の地域偏在という社会課題に対応する切り札になります。
- ②「総合診療専門医」が新しい専門医であること、またキャリアパスや指導体制が発展途上ということもあり、県内の総合診療専門医や指導医は未だ少数です。この課題を打破するため、総合診療専門医や「総合的な診療能力を持つ医師」の養成の拠点となる「総合診療医センター」が必要なのです。

❖ 持続的な地域医療へ ❖

関連機関・団体が一丸となって本事業に取り組み、県内全ての地域住民が安心して過ごせる地域を目指します。

